

空知管内 妹背牛町立妹背牛小学校

1 学習活動の概要

北海道の先住民であるアイヌの人たちの歴史・文化等を尊重する態度を育むため、「ウポポイ」の各施設の見学や職員による説明を指導計画に位置付け、探究的な学習活動を展開しました。

2 取組の様子

(1) 課題の設定

前学年までに、総合的な学習の時間で学習したアイヌの人たちの歴史・文化等を振り返り、多面的・多角的な視点から、「ウポポイ」の魅力を追究するとともに、「ウポポイ」の各施設の見学を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等を学ぶための学習課題を設定しました。

(2) 情報の収集

児童は、インターネットを活用して「ウポポイ」について調べ、「ウポポイ」の職員への質問を考えました。

その後、修学旅行において、「ウポポイ」を訪問し、伝統料理の試食体験や「アイヌ古式舞踊」の鑑賞、施設見学を通して、アイヌの人たちの文化について理解を深めるとともに、「ウポポイ」の職員への質問を通して、施設の魅力について情報の収集を行いました。

(3) 整理・分析

収集した情報について、「ウポポイの施設概要」「国立アイヌ民族博物館」「食と芸能の体験学習」の3つのテーマに分類し、整理・分析しました。

「ウポポイ」の魅力と合わせて、児童が発見したアイヌの人たちの当時の暮らしや伝統的な文化を伝える工夫について考えました。

(4) まとめ・表現

まとめたことの交流を通して、児童は自分が調べなかった内容の理解を深めるとともに、新たな課題を発見したり、アイヌの人たちの歴史や文化等に対する見方が広がったりするなど、学習意欲が一層向上しました。

3 児童の感想等

- ・「ウポポイ」では、展示物の見学だけでなく、食事や木彫り、刺繍といった様々な体験ができるので、アイヌの人たちの文化をより知ることができると感じました。
- ・国立アイヌ博物館は、今まで行ったことのある博物館と比べると広く、展示物の数もとても多かったです。館内の表示がアイヌ語になっていて、表示を見ながら見学すると、アイヌの人たちの歴史や文化と合わせてアイヌ語を学ぶことができると感じました。



【アイヌの人たちの文化のよさを探る児童の様子】



【テーマごとに発表する児童の様子】